

小学校の避難所機能の強化(秋田県秋田市)

効果概要: 令和5年7月豪雨の際、猛暑のため空調のある教室棟を避難所として開放した。トイレ改修前は湿式で暗く、老朽化により不衛生な印象であったが、全面的に改修済みで衛生面が向上していたため、避難者に感染症などの発生が無く、また、明るく、快適で安心なトイレを使用することで避難者の心身の負担の軽減につながった。

府省庁名: 文部科学省

- 実施主体: 秋田県秋田市
- 施設名: 秋田市立築山小学校
- 対策の概要: 校舎トイレの大規模改修
- 事業費: 約6,200万円(令和4年度)

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約6,200万円)

■ 効果:

日常、児童生徒が使用するにあたって、トイレが新しくなったことにより衛生面が向上し、避難所として利用した際にも、避難者の心身の負担の軽減に効果があった。

また、手洗いを手動水栓から自動水栓としたことや、扉を無くしたことにより、接触感染のリスクを軽減した。



改修前
・湿式床、手動水栓で不衛生



改修前
・個室、大便器が老朽化



全面改修し、湿式床から乾式床へ。手洗いは手動から自動へ。



改修後
・乾式床、自動水栓で衛生的



改修後
・個室、大便器を改修

衛生的で明るく、快適で安心なトイレとなり、避難者の心身の負担を軽減できた。